

まちづくり フォーラム

～つながり・ひろがる・まちづくり～

(平成27年度市民協働推進講演会&報告会)

2016年2月7日(日) 13時 開始(12時30分 開場)

佐倉市立中央公民館(佐倉市錦木町198-3)

参加費:無料(参加申込み不要)

内 容

市民協働に関する講演や各種市民活動団体による報告・PRを通して、
みんなでまちづくりについて考えるフォーラムを開催します。

第1部 平成27年度市民協働事業の報告

第2部 講演会「ひとづくりはまちづくり」

講師 野竹 司郎 氏(総務省 地域力創造グループ 人材力活性化・連携交流室長)

市民活動団体ポスター展、市民活動相談コーナーもあります。

問い合わせ: 佐倉市役所 自治人権推進課 ☎043-484-6127

市民活動団体ポスター展

佐倉市内で活躍する市民
活動団体を広く知ってい
ただため、団体が作成
したポスターを市内各所
で展示します。

展 示 場 所

1月21日(木)～1月24日(日): 西志津ふれあいセンター2階ギャラリー
1月25日(月)～2月1日(月): イオン白井店3階
2月6日(土)～2月7日(日): 中央公民館(まちづくりフォーラム会場)
2月22日(月)～2月29日(月): JR佐倉駅ギャラリー

問い合わせ 市民公益活動サポートセンター ☎FAX(484) 6686

まちづくりしよ

平成27年度 地域活動団体の取り組みのご紹介



平成27年度 各団体の取り組みのご紹介

開設40年！ 心通う千成の小さな図書館 『千成なかよし文庫』

「千成なかよし文庫」は、昭和50年に開設。地域住民を中心に、子どもから大人まで気軽に本を楽しんで貰おうと貸出しを行っており、昨年発足40年を迎えました。

文庫には約2,500冊を収蔵。絵本や童話、図鑑など、子ども達に人気のあるものから、手芸や料理、育児といった大人向けの実用書も取り揃えられています。また、第3水曜日には「おはなし会」を開き、絵本や紙芝居の読み聞かせを行っている他、工作教室などのイベントも開催しています。

この日は、毎週水曜 13:00～14:00の開庫日で、主に隣接する幼稚園の園児達が文庫を訪れます。男の子達は、お目当ての棚を目指して駆け寄り、乗り物の本を取り出しては、どれにしようか選ぶのに夢中。また、親子連れは可能な限りの5冊を借用。「読みたい時に気軽に借りることができ、通うとスタッフの方とも顔見知りになるので安心します」と、文庫の魅力を話します。

最近では、母親が仕事をもち忙しかったり、子どもも塾通いが増えたり、保護者の子どもの送迎が車に変わるなど、社会の変化により利用者が減少しています。文庫の活動を支えるボランティアの皆さんは、貸出しに長蛇の列ができていた頃を振り返り、小学生が積極的に文庫の受付を担当したり、夏休みの人形劇公演で達成感を味わうなど、関わってくれた子ども達は皆、大人になった現在も町内で会々と、自ら挨拶をしてくれると喜びます。発足時からメンバーである峰村愛子さんは、文庫の歴史とともに歩

む唯一のボランティア。人形劇の練習に励んだ小学生が大学生になり、「あの時の経験が自信になりました」と伝えられ、感激した胸の内を吐露。文庫での色々な経験が子ども達の成長の一助になっていると信じます。

ボランティア、子ども会役員、高学年の子ども達で構成される「千成なかよし文庫」は、本やおはなしを通して心通わす場であり、顔

の見える地域づくりにも貢献。ボランティアが变わらぬ笑顔で来場者を迎えます。本の入れ替えも行っているの、ぜひ一度ご来場ください。



【千成なかよし文庫】

水曜日 13:00～14:00

木曜日 14:30～16:00

第1・3土曜日 10:00～11:30

※本の貸出しは、一人5冊までとなります。

2月13日(土)

9:00～おひなさま工作教室

2月17日(水)

10:30～よちよちおはなし会

13:15～おはなし会

所在地：佐倉市千成3丁目4-3
(佐倉東学童保育所内)

問い合わせ：峰村さん

TEL.090-1208-6556



「千成なかよし文庫」のボランティアの皆さん



佐倉七福神で幸多き一年に！ 『佐倉七福神ガイドの会』

「佐倉七福神ガイドの会」は、佐倉の歴史と魅力を伝えていこうと一昨年に発足、現在13名で活動しています。同会では、年に数回ガイドの養成講座を開催しており、12月には普段入ること

できない拜殿で、寺社の住職と宮司から直接説明を聞き、謂れや歴史などを学びました。また、毎年1月初旬に「新春佐倉七福神ガイドツアー」を開催。佐倉市を始め、四街道、八街、八千代など市内外から60名以上の参加で賑わう年もあり、好評を博しています。

佐倉七福神は、甚大寺(毘沙門天)、嶺南寺(弁財天)、宗圓寺(寿老人)、松林寺(毘沙門天)、妙隆寺(大黒天)、大聖院(大黒天・布袋尊)、麻賀多神社(恵比寿・福祿寿)を巡ります。七つの御利益を授かるだけでなく、「甚大寺」が佐倉藩主堀田家の菩提寺であることや、ご本尊「十一面観音菩薩立像」が日本の近代金工史の先駆者である鑄金家、津田信夫の作であること、また「宗圓寺」では、蘭医学塾「佐倉順天堂」を開設した佐藤泰然の墓所があるなど、随所で佐倉の歴史を学ぶことができる他、コースの途中で歩く「暗闇坂」や「下長屋の坂」など、名称の解説を聞きながら「坂のまち・佐倉」を体感することもできます。

会長の鎌滝通夫さんは、25歳まで佐倉市新町で過ごしました。近所の寺の庭で遊んだり、秋祭りでは御神酒所でのお囃子演奏や屋根の上で提灯の火を灯した体験など、70代になった現在も佐倉での思い出を色濃く心に留めています。「佐倉七福神は、歩いて巡ることができるのが最大の魅力。ぜひガイドつきで佐倉のまちを堪能して頂きたい」と話します。ガイドは、個人・団体を問わず、通年受け付けています。一年の七福を授かり「歴史と文化のまち・佐倉」を楽しみませんか！

(問・申) 佐倉七福神ガイドの会

TEL/FAX.0476-98-1845 (会長 鎌滝さん)



台町の取り組み (臼井台区&大名宿町内会)

通称「台町」は、臼井台区と大名宿町内会の区域を指し、登録世帯数は543世帯です。

この地域では、住民の高齢化の進展とともに、独居の方々も増加してきていることから、「地域の安全安心」の実現を目指して様々な活動を行っています。

住民間のふれあいを育む各種活動！

●防犯関係については、毎日実施する児童の見守り、週1の昼夜間に実施する地域の防犯パトロールについては隣接するニコ一団地町会及び野口会と結成している「臼井台地区防犯パトロール隊」として行っています。



●防災関係については、「台町自主防災会」が中心となって、防災訓練、机上災害体験などの活動を行っています。



●福祉関係については、「いきいきクラブたぐり」が中心となって、月1回、75歳以上を対象に、脳トレ体操、臼井西中生徒との交流等々実施しています。



●祭礼関係については、「台町祭礼」として毎年9月に、御輿・山車の巡行、ひのき太鼓の演奏などを催しています。



今後に向けて、「臼井台地区防犯パトロール隊」の宇田川さんからは、さらに一歩進んだ「挨拶のできる町から、助け合いのできる町を目指し、高齢化をプラス思考で捉え、各種事業の進化を図りながら進めていきたい」との抱負をいただきました。

千成の取り組み (千成自治会)

千成自治会は、昭和42年に設立された佐倉地区の千成を活動区域とする会員世帯数970世帯の自治会です。千成自治会では、安全で快適な地域づくりを目的に、暮らしやすいまちづくりの実現を目指し、様々な活動を行っています。



《夏祭り》

「安全安心な千成づくり」

●防災意識の啓発を目的に、毎年、運動公園にて起震車による地震体験や緊急通報訓練等の防災訓練を行っています。

●地域の犯罪抑止や住民の防犯意識向上を目的に、約60名のメンバーが、各々の都合に合わせ、防犯パトロールを毎日行っています。

●自治会が行っている様々な活動の周知・案内や報告を目的に、年6回、自治会報を発行し、全会員世帯に配布しています。

●千成自治会では、地域課題の解決に向けて検討を行う問題検討会をその都度設置しています。来年度の空き家対策検討委員会の設立準備として、現在ブロックごとに、地域の空き家について調査を行っています。



《清掃活動》

今後に向けて、自治会長の小玉さんより「平成29年に設立50周年を迎えるが、これまで積み重ねてきた歴史を大切に、次世代へ引き継いでいくためにも、多くの住民の協力を得ながら活動を進めていきたい。」との抱負をいただきました。



《文化祭》